

平成30年度 第3回文学の夕べ

『教育の中の俳句』

7/10

火

18:30~

函館市文学館 1F ラウンジ

世界最小の詩と呼ばれる「俳句」というジャンルが、教育の中でどのように取り扱われているのか。その現状を踏まえ、主に高校の教科書掲載句を中心にお話しします。

海に出て木枯帰るところなし 山口誓子

去年今年貫く棒の如きもの 高浜虚子

柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺 正岡子規

分け入つても分け入つても青い山 種田山頭火

万緑の中や吾子の齒生え初むる 中村草田男

咳をしても一人 尾崎放哉

- 講師 佐藤和範氏 (市立函館高等学校 教諭)
- 参加料 300円(友の会会員240円) 学生150円
- 定員 50名
- 申込方法 電話でお申し込みください(☎0138-22-9014)

問い合わせ 函館市文学館 函館市末広町22-5
0138-22-9014